

選定に係る評価項目及び採点基準

#	評価項目	配点 (100点満点)	評価の視点
①	実施体制の構築	20点	<ul style="list-style-type: none"> ・実証実験を実施するために代表団体および構成団体の構成や役割・人員配置は十分に構築されているか。 ・提案内容の実現に向けて十分な実績を有しているか。 ・実証の実施にあたって、協力が必要と思われるステークホルダー（実証フィールドとなる県内市町村や連携先の企業等やその他必須と思われる協力者等）と事前に調整を行い、実証の場や協力体制の確保に向けた取組が確認できるか。
②	本県における地域課題への理解および解決策（仮説）の適格性	20点	<ul style="list-style-type: none"> ・一般的な課題感ではなく、本県下の課題感を理解し、定義できているか。 ・提案した課題に対して適切で有効な解決策（仮説）が示されているか。 ・解決策（仮説）実行のために適切なデジタル技術やソリューションが提案され、その内容は分かりやすく説明されているか。 ・単なるデジタル技術の実装に留まらず、取組のトランスフォーメーションが行われ、地域課題の解決や新たな価値創出、事業内容改善・効率化等につながるものであるか。
③	実証実験に関する設計	20点	<ul style="list-style-type: none"> ・詳細・明瞭に実証実験内容が示されており、実現可能性を感じられるものとなっているか。 ・解決策（仮説）の実証にあたって適切な検証項目・検証内容の設計がなされているか。 ・実証実験の収支予算について適切な費用・金額が想定されているか。また収入についても実施主体としての工夫が感じられるか。 ・実証実験およびその後の検証・成果整理に関して実現可能な妥当なスケジュールが示されているか。
④	実装への実現性	20点	<ul style="list-style-type: none"> ・実装に向けて想定される課題は解決しうるものであり実現可能性を感じられるものとなっているか。 ・マネタイズスキームについて持続可能なスキームの工夫や事業費低減・自立化に向けて工夫が検討・提案されているか。実装に向けての行政等の費用負担は過大ではないか。 ・デジタル技術やソリューションについて県内市町村・県内事業者等へのサービスの横展開が期待でき、波及効果が見込めたり、提案者としても短期的な取組に留まることなく、中長期にわたり自立した取組を継続・発展させていくことが期待できるか。 ・実装に向けたスケジュールは実現可能な妥当なスケジュールが想定されているか。
⑤	プレゼンテーションにおける説明能力	20点	<ul style="list-style-type: none"> ・説明は分かりやすく、全体を通じて論理立っているか。質疑に対する的確に回答・対応できているか。 ・本プロジェクトが共創の取組であることを理解しており、提案者の自主性・自立性を感じられるか。